

ゼロ 安曇野0年

～新しい歩みを始めた安曇野～

平成17年10月1日、豊科町・穂高町・三郷村・堀金村・明科町がひとつになり、安曇野市が誕生しました。市民の皆さんと協働しながら、安曇野の自然・歴史・文化を守り育て、誰もが暮らしやすい地域づくりを目指します。



安曇野市誕生
9/30→10/1

五つの心をひとつに 安曇野市誕生を祝う



新市誕生の瞬間を みんなで祝う

安曇野市誕生前夜の九月三十日、五町村の住民有志で構成する実行委員会が主催する安曇野市誕生カウントダウンイベントが豊科にあるスイス村サンモリッツで行われ、大勢の人が集い、新市誕生を祝いました。

①午後五時。開会宣言とほぼ同時に、各五町村の役場を「明日へのトーチ」がスタート。五町村合わせて約百三十人が参加し、それぞれの町村内を駆け抜け、メイン会場であるスイス村サンモリッツを目指しました。

②午後七時。五町村を駆け抜け、住民のさまざまな思いが込められた五つのトーチが、大きな拍手と声援の中で会場に到着。

③午後九時。会場では、民謡・大正琴の発表、バンド演奏、安曇野吹奏楽団の演奏が行われたほか、安曇野の農産物の販売、写真展、アート展など多彩な催しも開かれ、

多くの人で賑わい始めました。

④午後十一時。穂高町出身のカップルが、人前結婚式を挙げました。少し照れくさそうな二人の姿に温かい拍手が送られました。

歴史的な瞬間が いよいよ迫る

⑤午後十一時四十分。五町村長が、それぞれの町村を巡ってきたトーチを手に登場。五つの火を高く掲げ、ひとつにして、かがり火に点火。そして、いよいよカウントダウンがスタート。歴史的な瞬間が近づきます。

⑥午前零時。安曇野市が誕生。くす玉を割り、「祝安曇野市誕生」の垂れ幕が現れると、詰め掛けた多くの人たちからは、大きな歓声と拍手が沸き起こりました。そして、安曇野の夜空には、華麗な花火が打ち上げられ、勇壮な太鼓の演奏も行われるなど、新しい市の誕生を祝いました。

「千人コンサート」 心がひとつになる

十月一日には、安曇野市主催のオープニングセレモニー、さまざまな催しや特産品の販売が行われたほか、このカウントダウンイベ

ントを締めくくると「千人コンサート」が開催されました。

⑦午前九時。安曇野市主催のオープニングセレモニーが行われ、旧五町村長をはじめ、関係者が出席して、市旗の除幕、市章デザイン最優秀者の表彰が行われました。

⑧午前十一時。ホンダ製ロボット「ASIMO(アシモ)」の実演、子どもたちのダンスが行われました。人気を集めたのは、「ASIMO」。

ロボットとは、思えない動きを見せ、満員の会場を盛り上げました。

⑨午後一時。安曇野市民となった人々が集い、心を通わせて、歌う千人コンサートが開演。第一部では、「歌声の輪をつくらう」をテーマに五つの地域の住民などで結成した合同合唱団が約十曲を披露をし、元気な歌声を披露しました。

第二部は、市内の中学校、高校の吹奏楽部や安曇野吹奏楽団などで構成する合同吹奏楽団が登場。華麗な演奏で会場を盛り上げました。最後には、合唱団と吹奏楽団、そして会場を訪れた市民が心を一つに「ふるさと」を歌い、安曇野市の誕生を祝うとともに、安曇野市の飛躍を誓いました。

11時00分 選挙管理委員会 開催

選挙管理委員会が堀金総合支所で開催され、委員長・委員長職務代理者・委員が決まりました。(写真)

- 委員長 矢野口和弘 (穂高有明)
- 委員長職務代理者 黒岩保文 (堀金烏川)
- 委員 武田 基 (豊科南穂高)
- 委員 宮下豊光 (明科七貴)



教育委員会 開催

教育委員会が明科総合支所で開催され、教育委員長・委員長職務代理者・教育長が決まりました。

- 教育委員長 山浦廣海 (豊科)
- 委員長職務代理者 望月昭彦 (穂高柏原)
- 委員 中村孝信 (三郷温)
- 委員 小平信夫 (堀金烏川)
- 教育長 菅沼完二 (明科東川手)

農業委員会 開催

農業委員会臨時総会が開かれ、役員が選任されました。(10月4日開催)

- 会長 中島信男 (三郷温)
- 会長職務代理者 吉田富哉 (穂高有明)
- 副会長 丸山守雄 (豊科)

13時30分 安曇野市職務執行者 決裁

山口安曇野市長職務執行者が堀金総合支所会議室で「安曇野市役所の位置を定める条例」、「安曇野市の字の名称変更について」、「平成17年度安曇野市一般会計暫定予算」などの専決処分を行いました。



15時00分 安曇野市消防団 発足式

安曇野市消防団任命・結団式が豊科公民館で行われ、団長・副団長・分団長などに任命書が手渡されたほか、団旗・分団旗の授与も行われました。

- 代表団長 (穂高方面隊長) 林 安男 (穂高北穂高)
- 団長 (豊科方面隊長) 笠井郁男 (豊科)
- 団長 (三郷方面隊長) 帯刀 隆 (三郷温)
- 団長 (堀金方面隊長) 丸山重隆 (堀金三田)
- 団長 (明科方面隊長) 横内義幸 (明科中川手)



10月1日。安曇野市が動き始めました。
安曇野市主催のオープニングセレモニー、課長以上の職員への辞令交付式、選挙管理委員会、教育委員会など各行政委員会が開催されました。このほか安曇野市消防団発足式も行われました。



9時00分 オープニングセレモニー

式には、旧5町村長をはじめ、多くの関係者や市民の皆さんが参加。市旗の除幕、市章デザイン最優秀賞になった横浜市在住の古川賢一郎さんの表彰などが行われました。安曇野市長職務執行者の山口文彦旧堀金村長は「安曇野の豊かな歴史や文化、自然環境・景観を守り、暮らしやすさと産業発展のバランスが取れた田園都市づくりの実現に向けて、市民の皆さんとともに、新たな歴史を一緒に築いていきたい」とあいさつしました。

10時00分 職員辞令交付

安曇野市の初めての職員辞令交付式が部長・総合支所長・課長級の職員が出席して、堀金総合支所会議室で行われました。

山口市長職務執行者から10月1日付の辞令書が手渡されました。



動き始めた安曇野市



安曇野市 誕生とともに

専門的・総合的な福祉サービスの拠点 安曇野市福祉事務所 開所



▶ 穂高健康支援センター

安曇野市福祉事務所が十月一日から開所しました。

これまで松本福祉事務所で行われていた「生活保護事務」「児童扶養手当等支給事務」「特別障害者手当等支給事務」「助産施設、母子生活支援施設入所事務」などの福祉事務の一部を、このほど安曇野市福祉事務所に移管するための事務引き継ぎが行われました。

今後は、市民の福祉に関するさまざまなサービスを、安曇野市が主体となり、専門的・総合的にを行います。

問い合わせ先

穂高健康支援センター内
安曇野市福祉事務所

(TEL) 81・16222



8時00分 本庁・各総合支所 開庁

安曇野市役所本庁と各総合支所では、市旗の掲揚と銘板の除幕、テープカットなどが行われ、この日から市民窓口などの住民サービスがスタートしました。



安曇野市役所 開庁

安曇野ナンバープレート登場

安曇野市の窓口業務が始まった10月3日、バイクや農耕用トラクターなど小型特殊自動車に取り付ける「安曇野市」ナンバープレートの交付業務が各総合支所で行われました。

この日は、安曇野市ナンバー1を取得しようと窓口開始前から並ぶ人もいて、初日は、5つの総合支所で33枚が交付されました

なお、旧町村名のナンバープレートも引き続き使えます。



URL <http://www.city.azumino.nagano.jp>

安曇野市 ホームページ開設

安曇野市公式ホームページを開設しました。



安曇野警察署に 名称変更

安曇野市が誕生した十月一日から「豊科警察署」が「安曇野警察署」に名称を変更しました。

10時00分 町村長事務引き継ぎ

旧5町村長の事務引き継ぎが安曇野市役所本庁舎で行われ、平林伊三郎旧穂高町長、村上広志旧豊科町長、西山稔司旧三郷村長、尾崎稔旧明科町長から山口安曇野市職務執行者へ引き継ぎ書が手渡されました。



安曇野市誕生まで

平成 16 年

- 7月23日 5町村による安曇野地域合併協議会設置協議書調印式を開催
- 10月20日 「新市の名称及び町名・字名」について住民意向調査を実施
- 12月14日 新市名称が「安曇野市」に決定



平成 17 年

- 2月23日 合併協定調印式を開催
- 2月28日 長野県知事に合併申請書を提出
- 4月1日 安曇野市「市章」デザイン募集
- 6月20日 市章デザイン住民意向調査を実施
- 7月11日 長野県議会において廃置分合の議案議決
- 7月12日 5町村の廃置分合について県知事決定
- 7月12日 市章デザインが決定
- 8月12日 総務大臣による官報告示により、「安曇野市」誕生が正式に決定
- 9月30日 安曇野地域合併協議会解散
安曇野市誕生カウントダウンイベント開催
- 10月1日 「安曇野市」誕生



～安曇野の新しい地域づくりが始まる～



にしやまのりこ
西山紀子さん
(穂高)

5つの心が
ひとつになった
実感を大切にしたい

「音楽の力で5つの心が1つになった喜びを実感しました。1つになったからこそ実現できたことがたくさんあり、子どもから大人まで想像もしていなかった出会いがありました」と話すのは、安曇野市誕生カウントダウンイベントで1,000人コンサートの担当をした西山紀子さん。「(これからは)必ずしもバラ色のことばかりではないと思いますが、まずは、この実感を大切にしたいと思います。より良い接点を多くもって、まちづくりの力になりたい」と話してくれました。

子どもたちに
新鮮なものを
味わってもらいたい



ふたつきもとこ
二木本子さん
(三郷温)

二木さんは、三郷でリンゴ農家を営んでいます。夫・博さんが勤めに出ている間は、本子さんがリンゴ園を見守ります。

リンゴのオーナーを受け入れていることから、県外の人と接する機会も多い二木さんは「採れたての新鮮なリンゴのおいしさに県外の皆さんは本当に感激しています。味の良いリンゴを育てるため、新鮮な空気やきれいな水を守っていくことはもちろん、都会の皆さん、特に子どもたちに新鮮なものを気軽に味わってもらえるように市の東西南北を巡る道路整備もしてほしいです」と話してくれました。



まるやましょういち
丸山庄一さん
(豊科)

優しさと思いやりのある
全国でも誇れる市にしたい

「安曇野市誕生カウントダウンイベント」の実行委員長を務めた丸山庄一さん。このイベントは、各地域の住民有志が中心となり企画・運営を行いました。丸山さんは「委員の中に地域エゴはなく、皆さん前向きで新市の誕生を祝う良いイベントができたと思います。安曇野は、バランスの取れた恵まれた地域で、どうしようもなく合併したというケースではないと思います。優しさと思いやりのある全国でも誇れる市にしたい」と話してくれました。

農業を守り大切に
市になってほしい

堀金から見る常念岳が一番きれいだと話してくれた堀金中学校3年生の青柳勇輝くん。安曇野市について「田園都市をつくるということで合併しましたが、人が生きていく上で必要な“食”を支える農業を守り、大切にしたい市になってほしいと思います。また、市内を走るバスなどの公共交通機関を充実させてほしいです」と話してくれました。



あおやきゆうき
青柳勇輝くん
(堀金三田)



ながはしあゆみ
長橋亜弓さん
(明科中川手)

他の地域のことを勉強しながら
交流を深めたい

明南小学校6年生の長橋亜弓さん。長橋さんは「毎日、学校から見える安曇野や北アルプスがとてもきれいで好きです。長峰山から見える景色もきれいなので、もっと多くの人に見てもらいたいと思います。これからは、ほかの地域のことを勉強しながら、ほかの学校との交流を深めたいです」と話してくれました。



安曇野市民の思いを聞く